

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001001	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	パク ユギョン / PARK YUKYUNG, ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	パク ユギョン / PARK YUKYUNG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	パク ユギョン / PARK YUKYUNG		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3_L(韓1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yukyung.park7▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室(教養教育事務室の隣)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3~4限の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001002	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (E(韓1)_F1~F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	パク ユギョン / PARK YUKYUNG, ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	パク ユギョン / PARK YUKYUNG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	パク ユギョン / PARK YUKYUNG		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(韓1)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yukyung.park7▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室(教養教育事務室の隣)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3~4限の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001003	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (L(韓2)_P1・P2_J1~J3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(韓2)_P1・P2_J1~J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001004	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(韓2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001005	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T(韓2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001006	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (M4~M6_T(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4~M6_T(韓1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563001007	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (M1~M3_K1~K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K1~K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3~4限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォー加 わ フォムで身につくトライ!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ（対面）
第2回	Task：透視能力はある？（対面）
第3回	Task：きょうだいはいる？（対面）
第4回	Task：相性No. 1はだれ？（対面）
第5回	Task：クラスの実態調査をしよう（対面）
第6回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第7回	Project 1 自分のことを伝えよう（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：夏休みにしたいことは？（対面）
第10回	Task：私は何をしているのかな？（対面）
第11回	Task：予定表を作ろう（対面）
第12回	Task：私の趣味は・・・（対面）
第13回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第14回	Project 2 身近な人を紹介しよう（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003001	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	パク ユギョン / PARK YUKYUNG, ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	パク ユギョン / PARK YUKYUNG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	パク ユギョン / PARK YUKYUNG		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3_L(韓1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yukyung.park7▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室(教養教育事務室の隣)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003002	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (E(韓1)_F1~F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(韓1)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス わ フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003003	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (L(韓2)_P1・P2_J1~J3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(韓2)_P1・P2_J1~J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay(10点×2回=20点)+Speaking Test(10点×2回=20点)+定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003004	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(韓2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ＩＣカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003005	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (M1 ~ M3_K1 ~ K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1 ~ M3_K1 ~ K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス わ フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003006	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (M4~M6_T(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(韓1)_F1 ~ F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563003007	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(韓2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス わ フォームで身につくトライ! コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task：夏休みビンゴ（対面）
第3回	Task：To see Koalas（対面）
第4回	Task：インタビューしよう（対面）
第5回	Task：週末何をした？（対面）
第6回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第7回	Project 3 夏休みの思い出（対面）
第8回	スピーキングテスト （対面）
第9回	Task：新入社員を採用しよう（対面）
第10回	Task：役割分担表を作ろう（対面）
第11回	Task：アンサーゲーム（対面）
第12回	Task：新年の計画は？（対面）
第13回	Project 4 将来の夢（対面）
第14回	Project 4 将来の夢（対面）
第15回	スピーキングテスト （対面）
第16回	定期試験 ペーパーテスト（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563005001	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (2G1 ~ 2G3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月 ~ 金 12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(話す、聞く、書く、読む)を身につけ、身近な話題でコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標 / Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(3分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(70ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×12回=24点) 25% Essay Writing 10点×3回30点+Speaking 10点×2回20点 +Reading Test 10点+Paper Test 20点=80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	教科書及び毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(1h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1 Three Things about Me 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第2回	Topic 1 話す/ 聞く: 2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic 1 話す/ 聞く: 3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic 1 (対面)
第5回	Topic 2 Local Culture 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第6回	Topic 2 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 2 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 2 Local Culture (対面)
第9回	Speaking Test: Three Things about Me or Local Culture (対面)
第10回	Paper Test (対面) Topic 3 Life Styles 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words
第11回	Topic 3 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 3 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 3 (対面)
第14回	Speaking Test: Local Culture or Life Styles (対面)
第15回	Reading Test (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563005002	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (再履修) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金12:05頃 その他時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(話す、聞く、書く、読む)を身につけ、身近な話題でコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標 / Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(3分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(70ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×12回=24点) 25% Essay Writing 10点×3回30点+Speaking 10点×2回20点 +Reading Test 10点+Paper Test 20点=80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	毎回配布されるワークシート及び教科書により予習復習を行う(1h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 可能な限り、金2限に開講される韓国語 を履修してください。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1 Three Things about Me 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第2回	Topic 1 話す/ 聞く: 2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic 1 話す/ 聞く: 3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic 1 (対面)
第5回	Topic 2 Local Culture 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第6回	Topic 2 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 2 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 2 Local Culture (対面)
第9回	Speaking Test: Three Things about Me or Local Culture (対面)
第10回	Paper Test (対面) Topic 3 Life Styles 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words
第11回	Topic 3 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 3 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 3 (対面)
第14回	Speaking Test: Local Culture or Life Styles (対面)
第15回	Reading Test (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563007001	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (2G1 ~ 2G3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(話す、聞く、書く、読む)を身につけ、身近な話題でコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(3分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(70ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×12回=24点) 25% Essay Writing 10点×3回30点+Speaking 10点×2回20点 +Reading Test 10点+Paper Test 20点=80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシート及び教科書により予習復習を行う(1h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 4 How was the break 話す/ 聞く: 1min. 書く: 30 words (対面)
第2回	Topic 4 話す/ 聞く: 2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic 4 話す/ 聞く: 3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic 4 (対面)
第5回	Topic 5 Close friends 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第6回	Topic 5 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 5 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 5 (対面)
第9回	Speaking Test: How was the break or Close friends Reading Test (対面)
第10回	Topic 6 Future Dreams 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第11回	Topic 6 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 6 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 6 (対面)
第14回	Speaking Test: Close Friends or Future Dreams (対面)
第15回	Paper Test (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240563007002	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	●韓国語 (再履修) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金12:05頃 その他の時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(話す、聞く、書く、読む)を身につけ、身近な話題でコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標 / Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(3分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(70ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×12回=24点) 25% Essay Writing 10点×3回30点+Speaking 10点×2回20点 +Reading Test 10点+Paper Test 20点=80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	教科書及び毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(1h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、I Cカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 可能な限り、金2限開講の韓国語 を履修してください
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 4 How was the break 話す/ 聞く: 1min. 書く: 30 words (対面)
第2回	Topic 4 話す/ 聞く: 2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic 4 話す/ 聞く: 3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic 4 (対面)
第5回	Topic 5 Close friends 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第6回	Topic 5 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 5 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 5 (対面)
第9回	Speaking Test: How was the break or Close friends (対面) Reading Test
第10回	Topic 6 Future Dreams 話す/ 聞く: 1 min. 書く: 30 words (対面)
第11回	Topic 6 話す/ 聞く: 2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 6 話す/ 聞く: 3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 6 (対面)
第14回	Speaking Test: Close Friends or Future Dreams (対面)
第15回	Paper Test (対面)